

南区ボランティア情報

2017年2月
75号

Palette通信

社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会 南区ボランティアセンター
〒734-8523 広島市南区皆実町一丁目4-46(南区地域福祉センター内)
TEL (082) 251-0525 FAX (082) 256-0990

E-mail minami@shakyohiroshima-city.or.jp

南区ボランティア連絡会 研修会

あたまとからだを動かして

日時 平成28年3月13日(月)

10:00~12:00

場所 南区地域福祉センター

4階 大会議室

くほめぐみ

講師 健康運動指導士 久保 恵さん

ロコモ予防の研修で好評だった久保先生に来ていただき、認知症予防についてのお話と体操を教えてくださいます！

★参加費は無料です。

★対象：登録ボランティアグループ

個人登録ボランティア

★動きやすい服装でお越しください。

★必要な方はタオルをご持参ください。

★お申し込みは 2月28日(火)まで！



昨年11月25日（金）南区ボランティア連絡会交流会が開催され、『野の花』による朗読、『だんだん』による紙芝居の発表の後、『つくろう会』の「クリスマスカード」と「ロールケーキストラップ」作りを行い、58名の参加がありました。クリスマスカードとストラップ作りでは、各テーブルで協力し合いながら作業をしているうちに、会話も弾み、グループの情報交換も行われていました。その後は、お弁当を食べながら、ボラフェスや日頃の活動を振り返り、笑顔のあふれる交流会となりました。



朗読劇の発表の様子



「つくろう会」のメンバーが作業の準備と作り方や手順の説明をしてくださいました。作品ができあがると、お互いに見せ合ったり、出来ばえを比べたり、和気あいあいとした雰囲気でした。

昨年11月、作業所訪問を含む全4回の講座が行われ、11名の方が受講されました。講座の中では就労支援センターFlaT（フラット）の湯原さん、みどり作業所・ミルキーハウス・トムハウスの職員さんに施設の概要やボランティアの役割についてお話しして頂き、精神保健福祉ボランティアグループ「とちの実」のメンバーからは活動に対する思いや活動のきっかけ等を発表して頂きました。質問や会話の弾む和やかな講座となり、受講者の皆さんはお休みされることなく、とても真剣に講座に取り組みました。

今後は「とちの実」に入って活動したり、個人ボランティアとして登録されたり、それぞれの一歩を踏み出されました。

＜受講者の感想の一部を紹介します＞

『ボランティアという言葉に構えていたけど、とても分かりやすく、“やってみよう”と思いました。』

『作業所に行ってみて、良い経験ができた。』

『何か自分にもできることがあるかな？他の活動についても聞いてみたい。』

『就労支援センターや作業所の役割の大きさが分かった。』

南区ボランティア連絡会からご寄付を頂きました

第17回南区ボランティアフェスティバルの収益の中から100,000円を南区社会福祉協議会にご寄付いただくことになり、1月25日に感謝状の授与式が行われました。ご寄付は昨年につき2回目です。

頂いたお金は南区社会福祉協議会の福祉事業に大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



ボランティアグループ紹介



施設支援ボランティアグループ 『こだま』

「こだま」は平成10年から17年まで行われていた社会福祉協議会の「託老」事業の支援をしていたメンバーが中心となって発足されたグループです。

「託老」では週に1回、ボランティアによる手作業や歌、レクリエーションと食事の提供が行われ、地域に住む認知症のお年寄りの日中活動の場となっていました。介護保険がスタートし、託老事業は終了しましたが、『託老で学んだ認知症のお年寄りとの関わりや経験を活かしたい』とグループが発足され、グループ名は『ボランティアの依頼があれば、お手伝いしたい』という思いから、呼べばこたえる「こだま」となりました。

現在は南区内の老人ホームに訪問して、レクリエーションの手伝いや話し相手、編み物クラブの支援をしたり、デイサービスで行われる夏祭りのお手伝いもされています。メンバーによっては楽器演奏をしてお年寄りと歌を歌ったり、紙芝居を披露されることもあり、お年寄りが楽しいひとときを過ごせるよう活動されています。月に一回の定例会では翌月の予定決めと活動の報告、講習会等の情報交換が行われることもあります。

お年寄りの笑顔が見たい、一緒に楽しく過ごしたい、何かお手伝いしたいという方は南区社会福祉協議会までお問い合わせください。

【定例会】

日時 第4木曜日

10:00~12:00

場所 南区地域福祉センター

ボランティア活動 財団助成について

朗読サークル「野の花」は『大和（だいわ）証券福祉財団の平成28年度ボランティア活動助成』を申請し、助成を受けることが決定しました。「野の花」は視覚に障がいのある人への情報提供を目的に、南区だよりなどをCD・カセットテープに録音して送付しています。頂いた助成金は今後の活動の発展のため、パソコンや専用の再生機、CDラジカセ等の購入にあてられます。

録音作業の様子



来年度の募集はまだ出ていませんが、今年度の前半には以下のような募集がありました。

財 団	内 容	昨年の申請期間
大同生命厚生事業団	『シニアボランティア活動助成』 ・活動に要する費用、交通費など	4月1日から5月なかば
みずほ教育福祉財団	『老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業』 ・活動に必要な用具、機器の購入など	締め切り5月末
太陽生命厚生財団	『ボランティアグループなどが行う事業への助成』 ・在宅高齢者、在宅障がい者の福祉に関する事業の費用、機器・機材の整備など	締め切り6月末

今後の予定も随時収集していきます。助成の申請には書類の提出など手続きが必要となりますので、南区社協までお問い合わせ、ご相談ください。

平成29年度 ボランティア保険 改定のお知らせ

【ボランティア活動保険】

ボランティア活動保険は傷害事故の多発による保険金の支払い増加が続いたことにより、平成29年度は保険料が改定されます。また、Aプランの死亡保険金及び後遺障害保険金（限度額）も改定されます。

<保険料の改定>

保険料の改定	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	350円 (+50円)	510円 (+60円)
天災タイプ (基本タイプ+地震・噴火・津波)	500円 (+70円)	710円 (+60円)

<Aプランの死亡保険金と後遺障害保険金（限度額）の改定>

保険金額の改定	平成28年度	平成29年度
死亡保険金	1200万円	1320万円
後遺障害保険金（限度額）	1200万円	1320万円

保険期間は平成29年4月1日から平成30年3月31日までです。

平成29年度の加入手続きは始まっています。社会福祉協議会でお手続きください。

【ボランティア行事用保険】

不特定多数の方が参加する日帰り行事用「Cプラン」が新設されます。

- ・今まで「Aプラン」で加入して頂いていた行事のなかで、居場所づくりのためのサロンや子育てオープンスペース、とんどまつり等、不特定多数の方が参加する日帰り行事を補償します。
- ・対象は建物内（施設内）で開催される行事、又は屋外の場合は開催場所の境界が明確に区分できる会場（公園、グラウンド等）で開催できる行事等の制限があります。
- ・名簿の提出は必要なく、事前に参加者を特定する必要はありません。
- ・補償は行事参加中のみで、往復途上の補償はありません。
- ・最低加入人数（20名）の要件はありません。20名未満でも最低保険料（560円）を支払うことで契約することができます。

★お問い合わせ・お申し込みは南区社会福祉協議会まで★

あ と が き

冬が好きなのに最近の寒さで私の手足は冷え冷えです。体の冷えは健康に良くないけれど、運動が苦手なので、入浴とレンジでチンしたホット豆乳甘酒を飲んで体を温めています。シナモンをかけてもおいしいです。寒い日が続き、感染症にも要注意ですね。皆さんも体調に気を付けてくださいね。

ボランティアコーディネーター

パレット通信に関するご意見・ご感想、講座などへの参加申込は

南区社会福祉協議会までお問い合わせください。

TEL (082) 251-0525 / FAX (082) 256-0990